

2025年度

ニチイキッズ乐山保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月16日（月）～2月24日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念『おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ』の基、“子どもも大人もわくわくすること”を大切に心が動く保育を行った。小規模保育園の強みを活かし、その時々の子どもたちの興味や気持ちに寄り添いながら働きかけを行った。
子どもの発達援助	クラスミーティングでの共有、園全体でのカンファレンスを定期的に行い全職員が子どもの発達に共通認識を持ち関わることを心がけた。保育・給食の全職員で課題や支援の方向性の検討を繰り返し、子どもたちの発達に添った支援を行うことができた。
保護者に対する支援	送迎時や連絡帳など日々のコミュニケーションを通して子どもの様子や成長した姿を伝えていった。子育てへの疑問や困り感など受け止め丁寧に対応し、信頼関係を築きながら保護者も安心できる園運営を目指した。 また、地域における子育て支援では、子育てひろばの開催内容や情報提供方法の見直しを行ったことで参加者も増え、地域における園の役割を果たすことにつながった。
保育を支える組織的基盤	外部研修を受講し、スキルアップを図った。また、全職員が園内研修を担当し、自身が学んだ内容を自らの言葉で伝えることで園全体の理解度も高まり、保育の質の向上につながった。今後も研修内容のフィードバックを大切にしながら専門性を高めていきたい。

総評
職員間のコミュニケーションを密に行い、全職員が共通認識をもって保育に取り組んでいった。小規模保育園の強みを最大限に活かし、その時々の子どもたちの気持ちに寄り添いながら興味関心を広げていく関りを心がけた。食育活動では“本物に触れる体験”を大切に、土づくりから種まき、水やり、収穫、クッキングと食に関する一連の流れを体験しながら食への興味を育めるようにした。 今後、子どもたちが遊び込める環境構成について課題であり、保育環境を整えながら安心・安全な保育の提供に努めていきたい。